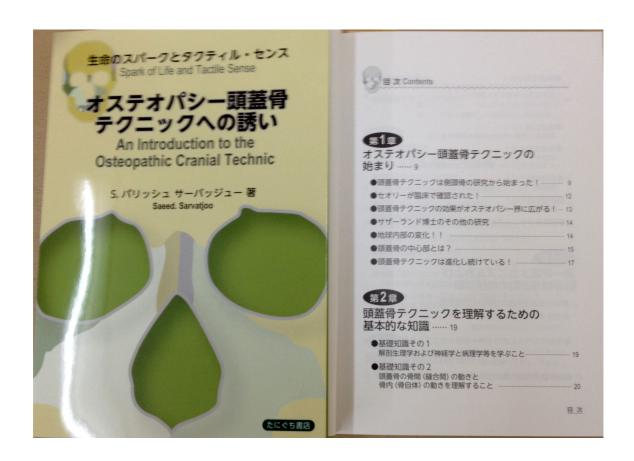
生命のスパークとタクティルセンス

オステオパシー頭蓋骨テクニックへの誘い

カラー本A5 判112 ページS. パリッシュ著たにぐち書店刊4000 円+税

日本では今までに発表されていない頭蓋骨テクニックの始まりと成り立ちおよび基本テクニックの手法をわかりやすく解説している貴重な一冊。 頭蓋骨テクニックを学ぼうとする方には必修な内容です。



お問合せ、ご購入は下記へ

たにぐち書店

電話: 03-3980-5536

●基礎知識その3 第一呼吸メカニズムの基本概念と 第一呼吸と第二呼吸とはそ ○第一呼吸と第二呼吸とは? ○部等簡減とその循環ポンプ運動とは? 27	25
●基礎知識その4 頭蓋骨と骨盤の緊密な関係を認識すること	30
●基礎知識その5 頭蓋骨テクニックは オステオパシーの一部であることを理解すること	35
●基礎知識その6 頭蓋骨テクニックの効能を過信しないこと	35
●基礎知識その7 頭蓋骨テクニックはどのような疾患に有効なのか?	
●頭蓋骨テクニックを修得するには?	37
を 1 c - 1	
第3章	
第一呼吸メカニズムおよび	
脳脊髄液波動の触診体験 41	
●蝶形後頭結合部の屈曲及び伸展動作	- 41
●頭蓋骨縫合触診の実際	. 43
○頭蓋レベルにおける触診体験 43	
●骨盤のレベルにおける第一呼吸メカニズムの動作触診… ○仙骨モーションメカニズムの触診49	49
○仙骨モーションの触診体験 49	
●脳脊髄液波動の触診と治療	- 51

●脳脊髄液液動と スティル・ポイント(Still Point)について	57
●頭蓋骨テクニックの目的	59
●頭蓋骨アクーラクの日の	
第4章	
頭蓋骨障害の	
一般的なタイプとその治療 61	
●頭蓋骨テクニックの目的	61
●タクティル・センス Tactile sense ······	62
●ビジアレーション visualization ······	64
Incitant Cerebrospinal Fluid Technic	65
●蝶形底テクニック Sphenobasilar Technic	67
●側頭骨錐体部デクーック Temporal petrous Technic	69
• mi====================================	
Temporo-Mandibular Technic	72
●構造、またはモールディング(形成)テクニック	75
Structural Technic (Molding Technic)	15
第5章	
頭蓋骨障害の外傷性タイプ 77	
1) 前頭・頭頂タイプ Fronto-Parietal Type	78
1) 則頭・頭頂タイプ Florito-lanetat Type	
	目次

2) 頭頂・側頭鱗タイプ Parieto-Squamous Type	81
3) 頭頂・前頭タイプ Parieto-Frontal Type	83
4) 頭頂・後頭タイプ Parieto-Occipital Type	85
5) 後頭・(側頭骨の) 乳様突起タイプ	
Occipito-Mastoid Type	87
6) 後頭・環椎タイプ Occipito-atlantal Type	89
7) 片頭痛タイプ Migraine Type	89
8) 歯科学的外傷タイプ Dental Traumatic Type	91
9) 顔面骨タイプ	95
○類 骨 The Malar Bone 95	
○上颚骨 The Maxillae98	
〇口蓋骨 The Palate Bone99	
〇篩 骨 The Ethmoid Bone 100	
を表現を対立。 1000年	
第6章	
頁蓋骨テクニックの臨床例 101	
●頭痛	101
●耳の後ろから、首にかけて痛む	102
●奥歯の痛み	102
●耳鳴り及びめまい	103
・頑固な肩こり	107
●顔のゆがみ及び小顔	108
●下顎関節症	111

第1章

オステオパシー頭蓋骨テクニックの始まり

●頭蓋骨テクニックは 側頭骨の研究から始まった!

1898年、ちょうど 20 世紀になる 2 年前、オステオパシー頭 蓋骨テクニックへの一番最初の思想が発見された。

アメリカのミズーリ州北部ののカークスビル市 (Kirksvile) の小さな教室で数人の若きドリームメーカーの学生達が集まって、将来の夢を語り合っていた時である。専門家になるため、オステオパシー医学の勉強をしていたその中の一人のドリームが、後に現実となる。その特別な時に彼のドリームはもはや確かな思想に変わっていた。

当時、教室では頭蓋骨について研究していた。解剖学の教授が側頭骨について説明をしていた。側頭骨は頭蓋の骨の中で一番複合体の骨であるが、凄く興味深い骨であると若き学生が考えた。側頭骨は頭蓋骨の左右を構成し、平衡感覚を含む聴覚および三半規管(semicircular canals)を入れている。顔の筋肉

第1章 オステオパシー頭蓋骨テクニックの始まり

という言葉を、「生命の気」と解釈している書物がある。これ によって頭蓋骨テクニックの効能を、気や神秘的なエネルギー のように誤解され、その効能を過信する場合がある。

頭蓋骨テクニックは、決して神秘的な分野ではない。正しい 訓練を行えば、縫合の動きや第一呼吸メカニズムの動作、また 身体の各部位における脳脊髄液の波動を触診できる。頭蓋骨テ クニックは解剖学に基づいて、現実的で、医学的で、そして可 能性のある分野である。

●基礎知識その7

頭蓋骨テクニックはどのような疾患に有効なのか?

側頭骨の可動性を発見したサザーランド博士は、側頭骨の間 からは重要な血管と神経が脳に走っていることを既に知ってい た。このことから、側頭骨の障害は頭痛を引き起こすと考え、 多くの頭痛患者の治療に当たった。

したがって、頭蓋骨テクニックの最大の効果は様々な頭痛が 解消できることにある。さらに、めまい、耳鳴り、癲癇、視力 問題、顎関節障害、出生児における小児の頭部および顔面異常 の整復等の治療で効果を発揮した。サザーランド博士は書物の 中にも記述しているように、効果には個人差や年齢等が関連する。

なお、頭蓋骨テクニックにはインスタント的なテクニックと 専門的なテクニックがある。インスタントテクニックでは、決 められた頭蓋骨の指標に定められたテクニックをそのまま実施 すればある程度の一時的な効果を得られるが、症状の再発はま た起こりうる。インスタント的なテクニックでは、頭痛、めま い、耳鳴りなどは一時的に解消される。

専門的なテクニックの場合は、症状の原因を専門的に探り、 再発しないようにその解消にあたる。専門的なテクニックには、 直接的なテクニックと間接的なテクニックなどがあり、オステ オパシー医学の総合的治療として行われ、副交感神経系の疾患、 頑固な頭痛、頑固な耳鳴り、頑固なめまい、水頭症、歩行問題、 うつ病、1期・2期パーキンソン病等に効果が期待できる。

頭蓋骨障害の一般的なタイプは、第4章を参照してください。

●頭蓋骨テクニックを修得するには?

先ず、前述したように身体の機能と生理に関しての包括的な 専門知識を身につけなければならない。

頭蓋骨テクニックは、手技療法の中でもあこがれの療法となっている。しかし、頭蓋骨テクニックの修得にはいくつかの 条件が必要である。

どんな立派な技術でも、使いこなせなかったら役に立たない。 車の運転に例えると、世界最速のレースカーを一般の運転士は 運転できない。無理して運転しようとしても事故につながって しまう。短期間でレースカーを操る人がいれば、一生やっても 上手く乗れない人もいる。

第2章 頭蓋骨テクニックを理解するための基本的な知識

38

頭蓋骨のテクニックも例外ではない。古今、手技療法を勉強 する人の大半は、他の職業についていた人が多い。仕事をしな がら勉強し、ある程度の技術が身に付いたら、仕事を辞めて独 立開業してしまう。熱心な人は、継続的に頭蓋骨テクニックを はじめ、様々なテクニックを勉強し、日常の臨床の向上をはかっ ているが、数回だけの講習会の受講でオステオパシーや頭蓋骨 テクニックの看板を揚げてしまう人もいる。

手技療法の修得にあたって、各自の能力は様々である。良い 指導者に付いて努力すれば難解な技術も行うことができる。し かし、果たして、頭蓋骨の複雑なテクニックを誰も完璧に行え るのか? 筆者は20年以上にわたる特に頭蓋骨テクニックの 臨床経験と技術を教えている傍ら、習いたい人には、医学的知 識以外に、いくつかの身体的な条件が必要であると気づいてい る。ここでは、修得したい人の身体的な条件を述べてみようと 思う。

○条件その1

先ず、指先が器用ではないと、頭蓋骨のテクニックを望ましく実施できない。指先が器用というのは、いくつかのこと(技術)を同時に、しかも瞬時に行えると言うことである。頭蓋骨テクニックに有効な技術は、いくつかの動作法を同時に行う必要があるので、手の器用さは大事である。

○条件その2

施術者は繊細であること。頭蓋骨の各縫合(頭蓋骨の各骨の

39

間にある結合部)の触診や頭蓋骨テクニックを行う時に、まるで、コインの裏表を毛布の上から見分けるような感覚で判断しなければならない。「With the thinking fingers」という言葉をサザーランド博士は良く口に出していたという。つまり、「指で考えること!」である。考え込んではだめである。指先で触診し、即実行に移せるぐらいの繊細さがないと頭蓋骨テクニックの修得が厳しい。

ちなみに、たばこを吸う人は、親指と人差し指の感覚が鈍く なってくるので正確な触診はできない。

○条件その3

頭蓋骨の複雑なテクニックを行うには、術者の手指の構造も 大切な条件の一つである。今まで頭蓋骨テクニックを教えてき た数百人のデータでは、指が極端に短い人は頭蓋骨のテクニッ クを行うには向いていない。特に親指、人差し指及び中指が極 端に短いと尚更である。というのは、臨床的に効果のある重要 な頭蓋骨の臨床テクニックは、指を広げていくつかの骨に同時 に接触しなければならない。たとえば、親指で頭頂骨の真ん中 に接触しながら、耳の前の側頭骨、さらに離れている後頭骨等 にも同時に接触しなければならないテクニックが多い。指が極 端に短いと、接触が正確にできず、上達が乏しく望ましい効果 が得られないからである。親指は5センチ未満、人差し指は6 センチ未満の人は、頭蓋骨テクニックの高度なテクニックをこ なせない。

さらに、掌や指の腹の柔らかさももう一つの大事な要素で

第2章 頭蓋骨テクニックを理解するための基本的な知識

ある。掌が軟らかい人は患者に圧迫感や緊張感を与えずにテク ニックを快適に行える。

○条件その4

る人は、頭蓋骨テクニックの取得には不向きである。国家資格 となっている針灸などの医療系の勉強及び開業にあたっては、 精神鑑定書が義務づけられている。しかし、日本ではオステオ パシー、整体及びカイロブラクティックは国家資格対象外であ るため、病歴を隠して勉強し、開業する人も少なからず存在し ている。精神病の経歴がある人は、施術の際に発作を起こして 感情や気持ちが急変し、事故につながることがあるからである。 しかし不思議にも、てんかんやうつなどの精神的な病気の改 善には頭蓋骨の高度なテクニックは非常に有効である。これら の病気で悩んでいる方は、頭蓋骨療法で改善し、自分に合った 職業で社会復帰できれば幸いである。

第3章

第一呼吸メカニズムおよび 脳脊髄液波動の触診体験

【触診を行うための予備知識】

●蝶形後頭結合部の屈曲及び伸展動作

蝶形底の構造は湾曲しているボーブリッジに似ている。1番 頂点は二つの骨の結合部である。伸展動作において、湾曲が結 合点において下方に動き、大後頭孔から翼状突起までの空間の 真下の前後軸は、結合部は屈曲時にあるより拡大する。屈曲運 動では結合部は上方へ動く。

樂形後頭結合部の動作は第一呼吸メカニズムの機能に基づく ものであり、頭蓋骨のほぼ全ての縫合は業形後頭結合部の屈曲 および伸展動作の影響を受ける。

屈曲動作において結合部は上がり、そして伸展動作において 結合部は下がる。結合部の屈曲および伸展動作において、主な 部位の動作は次の通りである。

第3章 第一年吸火ガニズムおよび協時機能接触の時間は機